

# 新型コロナウイルス感染症対応保健マニュアル（第一版）抜粋

下線部：塔野小学校の対応

## 2 学校における感染症対策

### ■学校の再開に当たっての体制

#### 【概要】

- 誰もがウイルスを保有している可能性があり、学校内への侵入をゼロにすることは科学的に不可能である。
- 今冬にかけて第2波が来ることを含めて、長期にわたる対応が必要。
- 今後の学校の再開に向けて、各学校の安全体制を構築するため、感染症に関する学会等が出しているガイドライン等を参考に以下の5事項を実施できるよう体制構築を図る。

#### 1 ヒトがウイルスを校内に持ち込まない工夫 **実施中**

- ア 家庭での感染予防対策の依頼（学校・学年・保健だより、いっせいくん、HP）
- ・ 自宅での毎朝の健康観察の徹底
  - ・ 発熱・咳・のどの痛み等の風邪症状がみられる場合は、自宅での休養を要請
  - ・ 家庭でもこまめな手洗いや十分な睡眠・バランスの取れた食事を心掛けるよう指導
  - ・ 「健康チェックリスト表」の保護者による記入
- イ 学校における登校時の「健康チェックリスト表」の確認  
マスクなし、37.0℃以上、平熱+0.5℃、身体症状の確認 ⇒ 別室・保護者連絡

#### 2 知らないうちに持ち込まれたウイルスを校内で増幅させない工夫 **実施中**

- ア 学校医等の専門家と連携し、学校の環境整備について助言を受ける（学校薬剤師）
- イ 基本的な感染症対策の徹底（手洗い・マスク着用・換気）
- ウ 教室等のドアノブなどの消毒（職員による消毒～遊具・図書・掃除道具等）
- エ 日常的な掃除における留意点の遵守（職員による掃除）
- オ 教職員の健康管理や職員室内の環境管理の徹底（毎朝の検温チェック・共用回避）

#### 3 校内のヒトからヒト感染の可能性を早期に把握する工夫 **実施中**

- ア 朝の健康観察の結果を管理職が集約し、校内での感染を早期に把握。（健康観察一覧）
- イ 発熱者（感染の疑い者）への別室対応（教育相談室）

#### 4 校内のヒトからヒト感染を早期に抑制する対策 **実施中**

- ア 「クラスター対策事前調査チーム」が発生した段階から濃厚接触者を早期に特定し、PCR検査を実施（教委・保健所）
- イ 学校関係者に感染者が出た場合は、速やかに学校の消毒・学校閉鎖等を実施（教委）
- ウ 感染者又は疑い者等の出席停止の取扱いを実施（管理職対応）

#### 5 困ったときに相談できる体制の整備 **実施中**

- ア 児童・教職員の心のケア（アンケート、教育相談、SC・関係機関）
- イ 教育委員会に感染症対策の相談部署を置き、保健所等の専門機関と連携【学校における新型コロナウイルス感染症対策に係る役割分担】